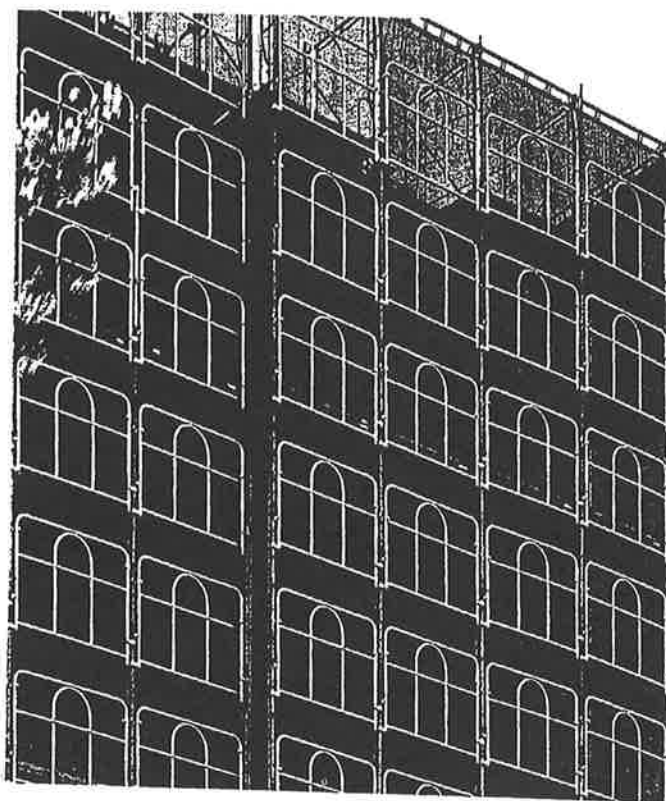


スカイガード  
取扱い説明書



 中央ビルト工業株式会社

## 目 次

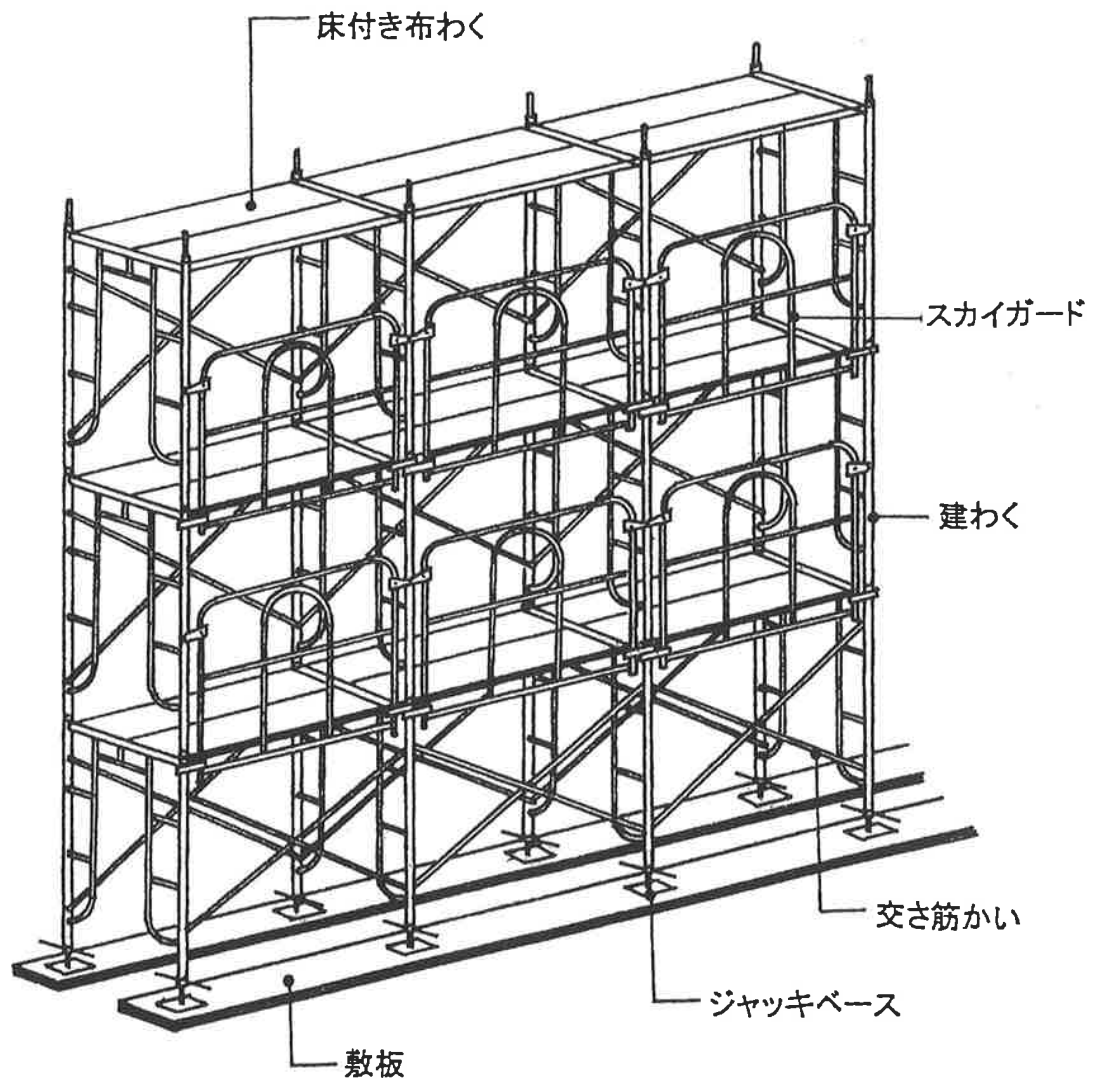
1. スカイガードの概要	1	頁
2. スカイガードの特徴	2	
3. スカイガードの構成部材	3~4	
4. 性能と許容支持力	5~6	
5. 足場計画図の作成	7	
6. 組立に当たっての注意事項	8	
7. スカイガードの組立順序	9~11	

## 1. 概要

スカイガードは、枠組足場の組立・解体時における墜落労働災害防止用として開発された先行手すり枠であります。

本製品は、(社)仮設工業会の認定基準に合格した認定品であり、建設業労働災害防止協会の推薦品でもあります。

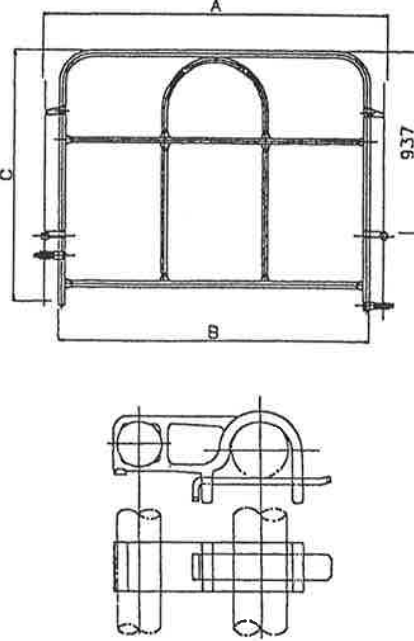
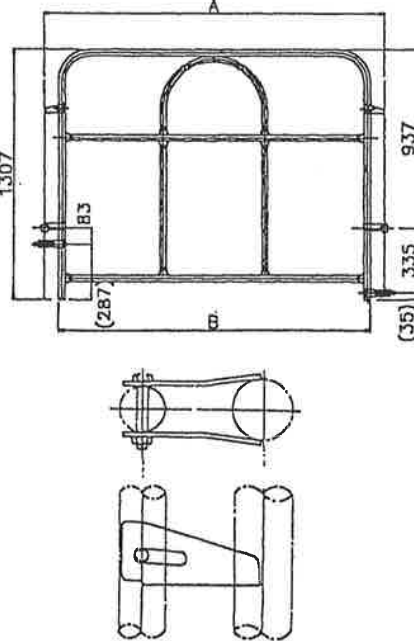
略 図



## 2. スカイガードの特徴

- ◆ 枠組足場の組立・解体時にスカイガード(先行手すり枠)があり、安全に作業をすることが出来ます。
- ◆ スカイガードは、外枠・中棧・垂直材・水平材・補剛材で構成されており、中腰作業での転倒などによる墜落を防止することが出来ます。
- ◆ スカイガードは、手すりの高さが91cmあり、乗り越えなどによる墜落を防止することが出来ます。
- ◆ スカイガードは、超軽量であり最大でも7kg／枠しかありません。
- ◆ スカイガードは、全ての部品が一体化されており、部品の紛失がほとんどありません。
- ◆ スカイガードを取付ける後踏み側(外側)には、最下層及び出入口開口上の一部を除いては、交さ筋かいを取付ける必要がありません。

### 3. スカイガード構成部材

略 図	品 名	高 さ (Cmm)	幅 (Bmm)	重 量 (kg)
 <p data-bbox="379 1122 512 1151">取付け金具</p>	ASGS-18TN	1,307	1,654	6.8
	ASGS-15TN	1,337	1,354	6.4
	ASGS-12TN	1,337	1,054	5.9
	ASGS- 9TN	1,337	754	5.2
	部材構成 本体……………1 台 突き当て金具……………2 ケ 位置決め金具A……………1 〃 位置決め金具B……………1 〃 取付け金具……………2 〃			
 <p data-bbox="355 1917 512 1946">突き当て金具</p>	ASGF-18T	1,307	1,683	7.0
	ASGF-15T	1,307	1,378	6.4
	ASGF-12T	1,307	1,073	6.0
	ASGF- 9T	1,307	768	5.3
	部材構成 本体……………1 台 突き当て金具……………2 ケ 位置決め金具A……………1 〃 位置決め金具B……………1 〃 取付け金具……………2 〃			

特 記

製品記号

A S G	S - 1 8	T	N
A S G	F - 1 8	T	

Newタイプ

突き当て金具を表します

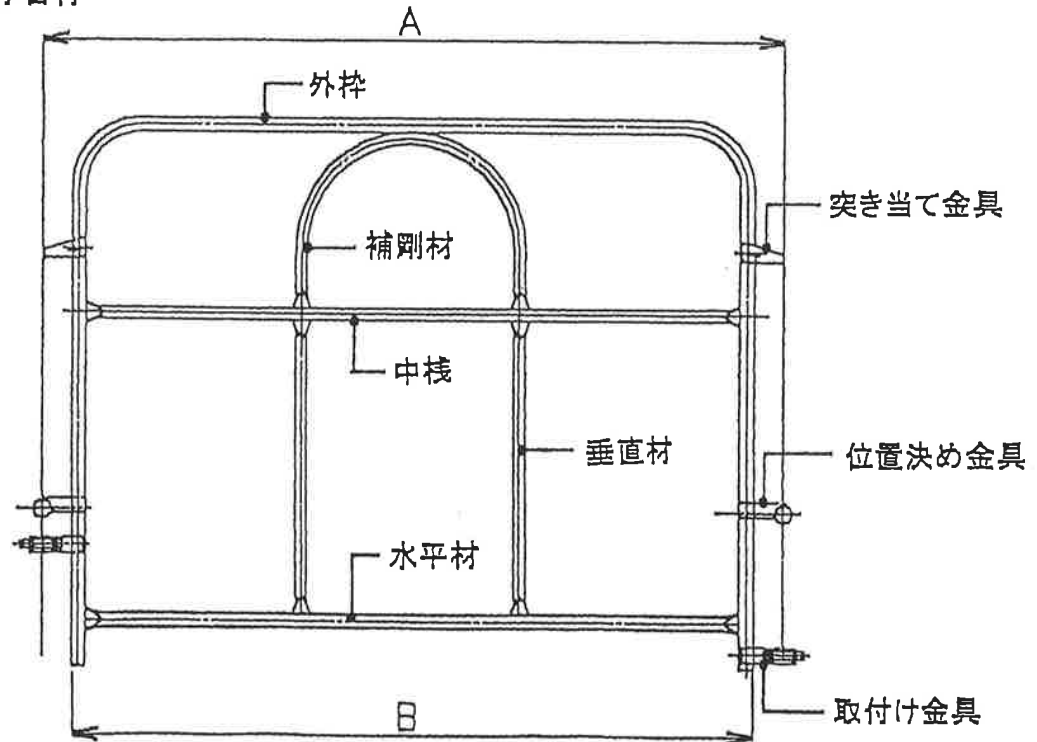
取付け寸法を表します Sスパン=1,800  
(下図A寸法) Fスパン=1,829

S=ビルトタイプ(メートルサイズ)を表します

F=フィートサイズタイプを表します

アルミスカイガードを表します

構成部材名称



#### 4. 性能・許容支持力

##### 1. 認定基準及び試験値

###### 手すり材の水平移動量

試験方法		水平移動量 (mm)	強度等
所定の試験治具により 30kgfの荷重をかけた ときの水平移動量	認定基準	100以下	—
	スカイガード	51	—
荷重 100 kgf時で 破壊の有・無	認定基準	—	破壊しない こと
	スカイガード	—	無

###### 先行手すり枠付き足場の荷重試験

試験方法		最大荷重 (KN)
5層組立時の荷重試験	認定基準	138 以上
	スカイガード 付き足場	166.7

## 2. 許容支持力

スカイガードで構成する枠組足場の許容支持力は、下記に示す数値で計画して下さい。

- ① 標準枠(建わく幅90cm以上125cm以下、建わく高さ180cm以下)の許容支持力は、簡易枠組足場(建わく幅40cm以上90cm未満、建わく高さ180cm以下)の許容支持力に準じ、建わく1枚当たり3,500kgf(建わく脚管1本当たり1,750kgf)とします。
- ② ジャッキ型ベース金具の繰上長による建わくの許容支持力は、下記の表の値として下さい。

### 建わく許容支持力

建わくの種類 繰上長	簡易わく・標準わく	
	1わく当り (kgf)	1脚当り (kgf)
200未満	3,500	1,750
200以上250未満	3,350	1,675
250以上300未満	3,200	1,600
300以上350未満	3,050	1,525

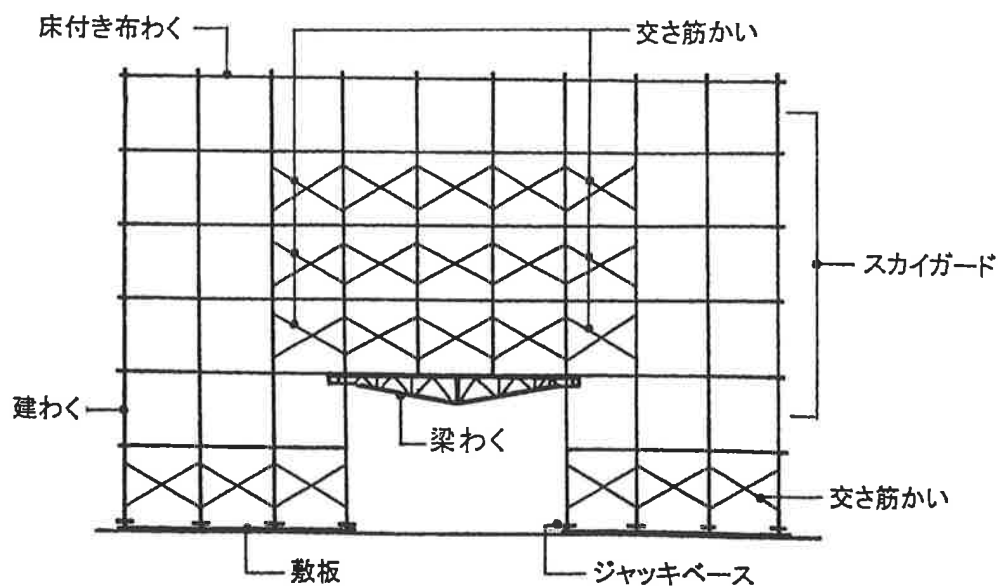


## 5. 足場計画図の作成

スカイガードでわく組足場を計画する場合は、機能、構造及び壁つなぎの配置を十分検討のうえ計画図を作成して下さい。

1. 足場の高さは、45m以下として下さい。
2. スカイガード付きわく組足場は、わく組支保工には使用しないで下さい。
3. 壁つなぎは、労働安全衛生規則に定められている間隔に設けて下さい。養生シート等を張る場合は、強度計算により間隔を決めて下さい。
4. 足場の最下層には、前踏み側(内側)、後踏み側(外側)共交さ筋かいを設けて下さい。
5. スカイガード付きわく組足場を計画する場合は、床付き布わくを各層・各スパンに設けて下さい。
6. スカイガード付きわく組足場を計画する場合は、建わくの許容支持力を3,500kgf以下にして下さい。
7. 足場に開口部梁わくを使用する場合は、梁わくの直上部及び梁わくのレベル上の両端それぞれ3層以内には、交さ筋かい又は交さ筋かいとスカイガードを併用して下さい。

例 図



## 6. 組立にあたっての注意事項

### 1. 事前点検

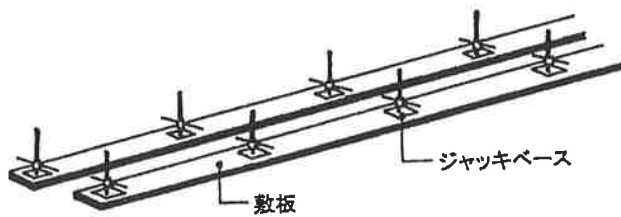
- ① へこみ・曲がり・腐食・がた・亀裂・取付け金具の変形、溶接はがれなどの有害な損傷のあるものは使用しないで下さい。
- ② 取付け金具の部品取替えは、弊社の指定する方法以外は絶対に行わないで下さい。

### 2. 組立上の注意事項

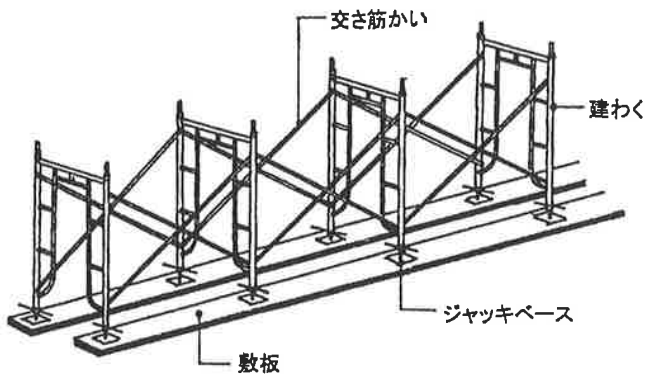
- ① スカイガード付き足場の組立作業にあたっては、足場の組立等の作業主任者の直接指揮のもとに行ってください。
- ② 足場の脚部が不動沈下を起す可能性がある場合は、堅固な地盤にして敷板等を設けて下さい。
- ③ 足場の脚部は、根がらみ等により滑動防止の処置をして下さい。
- ④ 足場の2層目からは、前踏み側(内側)に交さ筋かい、後踏み側(外側)にスカイガードを全面に設けて下さい。
- ⑤ 床付き布わくは、足場の全層・全スパンに設けて下さい。
- ⑥ 作業者が足場を組立・解体する場合は、必ず機材を肩にかつぐか片手に持ち、片方の手でスカイガードにつかまりながら運搬して下さい。
- ⑦ 足場の両端(妻側)の建わくを組立てる場合は、墜落防止のため安全帯をスカイガードに固定して作業を行ってください。
- ⑧ 建わくの許容支持力を超えて使用しないで下さい。

## 7. スカイガードの組立順序

- ① 敷板を敷き並べ、ジャッキ型ベース金具を配置します。

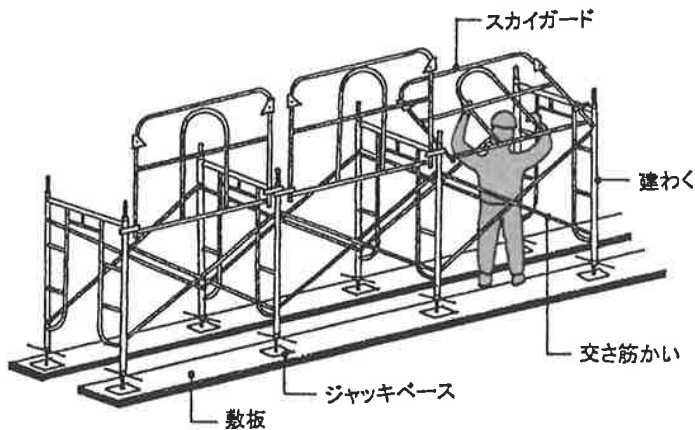


- ② 建わくを並列に建込み、交さ筋かいを取付けます。



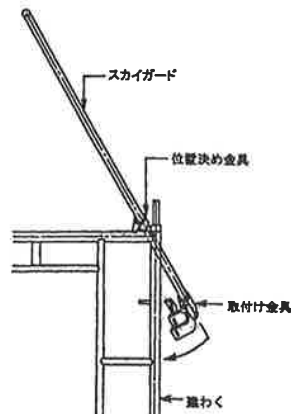
◆ 建込み後レベルを出し根がらみ等により滑動を防止します。

- ③ 建わくにスカイガードを取付けます。



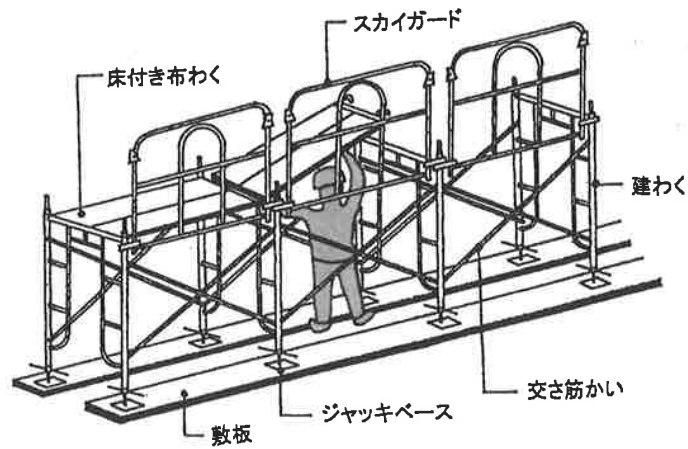
◆ スカイガードの取付けは、足場の中に入って作業をして下さい。

### 取付け方法

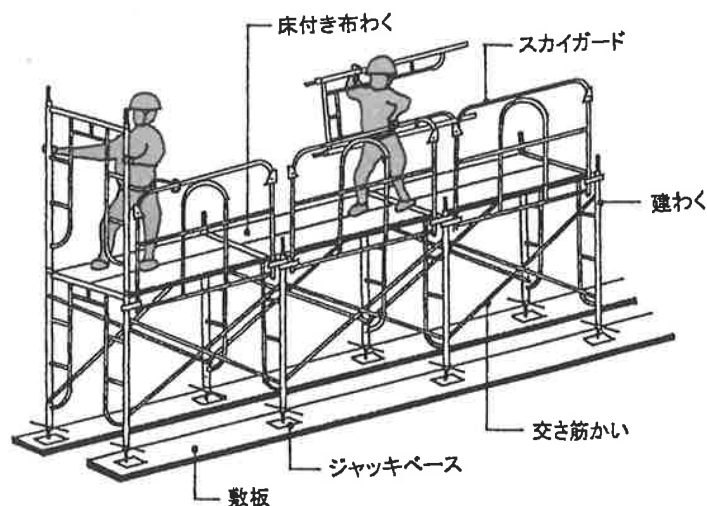


◆ スカイガードの位置決め金具を建わくの横架材にかけ、スカイガードを回転させ下部の取付け金具と建わくの脚柱をクサビにて固定します。

④ 建わくスパン間に、床付き布わく及び階段等を取付けます。



⑤ 2層目の建わくを建込みます。



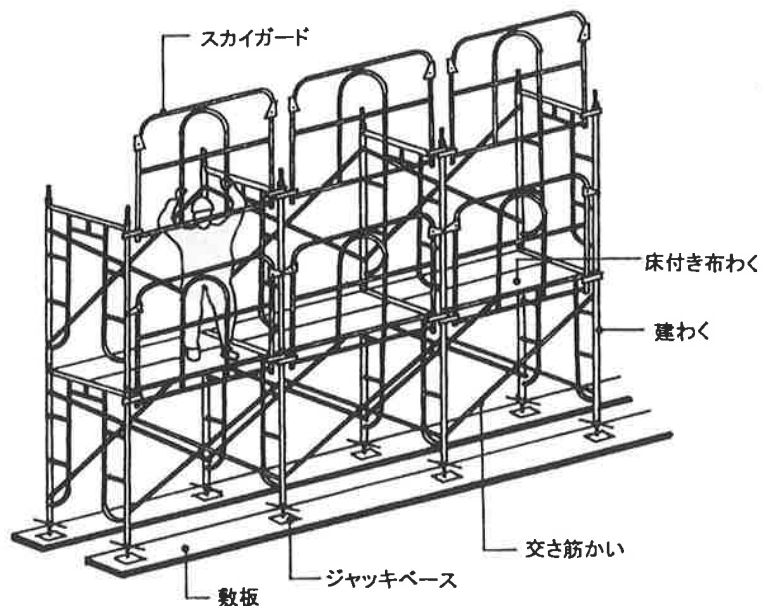
◆ 足場上の機材運搬

作業者が建わく又は交さ筋かいを運搬するときには、必ず肩にかつぐか片手に持ち、片方の手でスカイガードにつかまりながら作業床上を移動することを厳守して下さい。

◆ 足場の両端(妻側)建わくの建込み

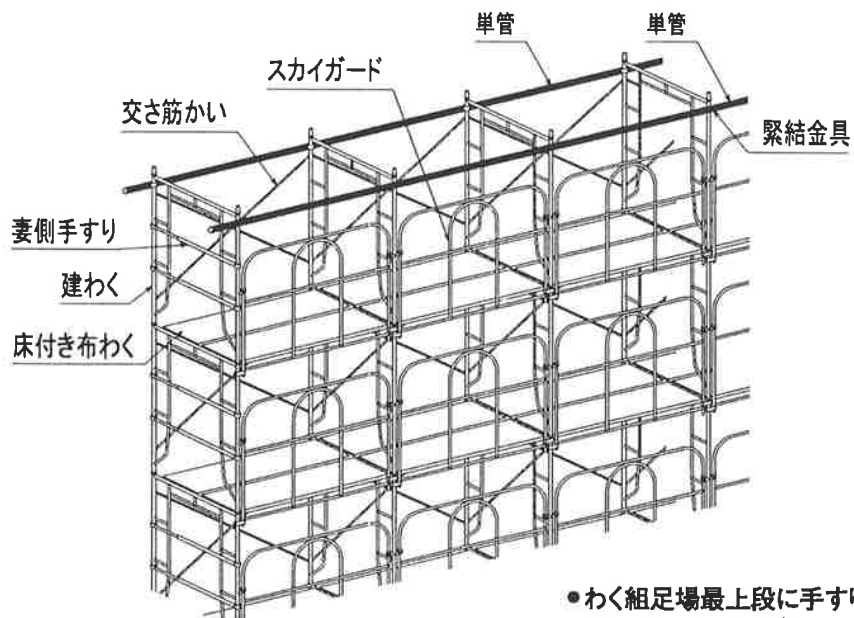
足場の両端(妻側)建わくの建込みを行う場合は、スカイガードの手すりに安全帯を取付けて作業して下さい。

⑥ 3層目のスカイガードを建わくに取り付けます。



⑦ 同様にして④→⑤→⑥の順でスカイガード付き足場を建込んでいきます。

⑧ 最上層建わくの上を単管と緊結金具で連結します。

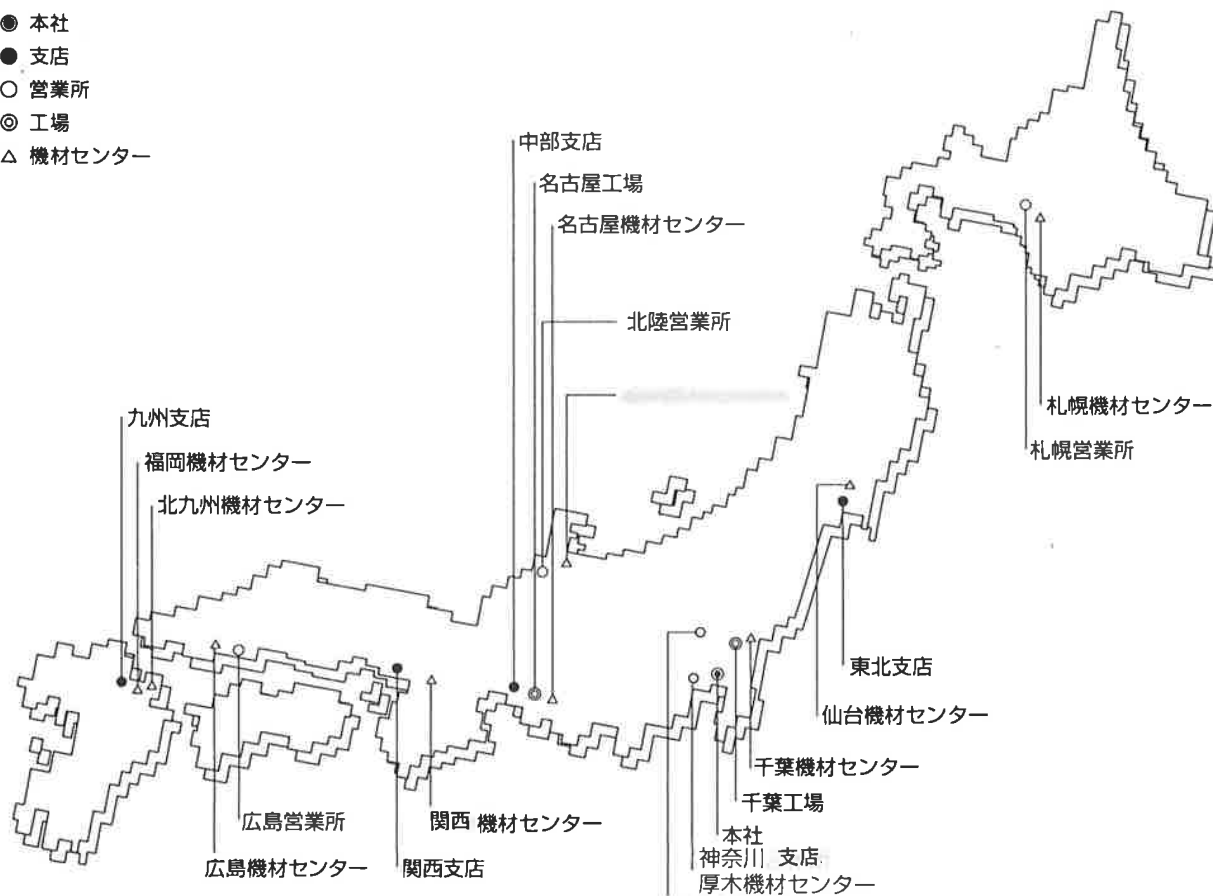


●わく組足場最上段に手すり柱 (SP-95、SG-SP、SPF-80) を用いスカイガードを取り付ける方法もあります。

※解体は、組立順序と逆に行ってください。

# 事業所 本社／支店／営業所／工場／機材センター

- 本社
- 支店
- 営業所
- ◎ 工場
- △ 機材センター





# 中央ビルト工業株式会社

<http://www.chuo-build.co.jp>

本社・東京支店	(〒103-0012) 東京都中央区日本橋富沢町11-12サンライズビル6階…	☎03-3661-9635～7	FAX 03-3661-1867
神奈川支店	(〒243-0215) 神奈川県厚木市上古沢147-2	☎046-290-2122	FAX 046-247-4835
関西支店	(〒541-0043) 大阪府大阪市中央区高麗橋1-5-9	☎06-6203-7271	FAX 06-6203-7276
中部支店	(〒460-0007) 愛知県名古屋市中区新栄2-1-9	☎052-238-3351	FAX 052-241-3680
九州支店	(〒811-2114) 福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵桜原1515-5	☎092-932-3888	FAX 092-932-4418
東北営業所	(〒989-2202) 宮城県亶理郡山元町高瀬字北1-1	☎0223-33-8288	FAX 0223-37-3343
北陸営業所	(〒920-0852) 石川県金沢市此花町6-10	☎0762-65-5239	FAX 0762-23-5448
札幌営業所	(〒063-0835) 北海道札幌市西区発寒十五条12-4-40	☎011-662-1527	FAX 011-665-5098
広島営業所	(〒730-0013) 広島県広島市中区八丁堀15-10	☎082-221-3122	FAX 082-228-4326
千葉工場	(〒284-0042) 千葉県四街道市小名木300	☎043-432-1131	FAX 043-432-8733
名古屋工場	(〒475-0032) 愛知県半田市潮干町1-33	☎0569-28-6100	FAX 0569-28-6103
札幌機材センター	(〒063-0835) 北海道札幌市西区発寒十五条12-4-40	☎011-662-1527	FAX 011-665-5098
仙台機材センター	(〒989-2202) 宮城県亶理郡山元町高瀬字北1-1	☎0223-33-8288	FAX 0223-37-3343
千葉機材センター	(〒284-0042) 千葉県四街道市小名木300	☎043-432-8711	FAX 043-433-1523
厚木機材センター	(〒243-0215) 神奈川県厚木市上古沢147-2	☎046-248-3651	FAX 046-247-4835
名古屋機材センター	(〒475-0032) 愛知県半田市潮干町1-33	☎0569-29-2941	FAX 0569-29-2986
関西機材センター	(〒610-0261) 京都府綴喜郡宇治田原町大字岩山小字辻堂34-6	☎0774-88-6201	FAX 0774-88-6209
広島機材センター	(〒738-0223) 広島県廿日市市浅原大山甲962-2	☎0829-72-2300	FAX 0829-72-2323
福岡機材センター	(〒811-2114) 福岡県糟屋郡須恵町大字上須恵桜原1515-5	☎092-932-3888	FAX 092-932-4418
北九州機材センター	(〒809-0003) 福岡県中間市上底井野八反田438-1	☎093-246-4266	FAX 093-246-4277